「米軍基地いらない京都府民の会」ニュース VOL.34　2014年10月7日

丹後に米軍基地いりません！

すごい！10．4府民大集会に1400人超！

沖縄と連帯し、米軍基地ノー！を

「30億円基地交付金、安全安心でないから出る」「説明会、聞く度に安心できなくなった・・」

10月４日、『米軍基地はいりません10・４府民大集会』（主催：米軍基地設置反対丹後連絡会・米軍基地建設を憂う宇川有志の会・米軍基地いらない京都府民の会）が、宇川体育館（旧宇川中学校）で開催され、1400人を超えて集まり、体育館は立錐の余地もない状態となりました。集会には、京都市内、大阪、京都北部、京丹後市全域から30台近くのバスがでました。

集会では、**石井内海・丹後連絡会副代表**が「米軍人・軍属が着任し、異様な雰囲気になっている。知事や京丹後市長は、何も言えない。『そこのけ、そこのけ米軍が通る』状態だ」と開会あいさつ。**倉林明子・日本共産党参院議員**は「政府は『米軍の信頼を損ねることは一切答えられない』のくり返しで、自国の国民の信頼とどちらが大事なのか」と連帯のあいさつ。**永井友昭・憂う宇川の会事務局長**は「米軍・防衛省が通勤時間帯や日・祝日を除くとした工事の約束は守られず、安全・安心は実行されていない。オルブライト米司令官は、市民へ交通安全を呼びかけたが、守るべきはあなたがたでしょう。市長も『安全・安心のため言えないこともある』という。隠すことが安全・安心なのか」と報告。**小泉親司・安保破棄事務局次長**は「①米軍基地は軍事的緊張を巻き込み、国民を守らない、②基地そのものが人権を侵害し、環境を破壊する、③沖縄、三沢、岩国、佐世保と連帯し、京都から米軍基地ノー！を」と講演。**米軍基地被害者救援センターの武市菜穂子さん**は「米軍属・軍人は、免許証を持つ必要もない。事故を起こしても、その責任を追及されることはほとんど無い」と述べました。**地元住民の方**からは「30数億円の基地交付金は、安全・安心でないから出る。某大臣が言った『お金でしょ』。交付金は10年後なくなる。残るのは米軍基地だけだ。軍隊は町を破壊こそすれ、活性化した歴史はない」「安心・安全の説明会に出たが、聞く度に安心できなくなった。基地は絶対いらんです」と次々アピール。**森下総子・共同代表・京都新婦人会長**は、7月に現地70軒を訪問した経験をのべ、「基地撤回まで奮闘しよう」と訴え。**木戸和司・ふるさとを守る丹後人の会事務局長**は「名前も知らない人から賛同が寄せられている」と報告。**片岡明・京都平和委員会事務局長**は「車力との違いは、すぐそばに住民が居住していること。米本土防衛のために自然・住民破壊は許されない」と告発。**近江裕之・丹後連絡会事務局長**が、要請ハガキ、レーダー搬入時の抗議行動、沖縄連帯など、行動提起。**中村和雄・府民の会共同代表・弁護士**が「稲嶺名護市長は、あらゆる法的措置をとってたたかっている。平和と民主主義のたたかいに京都が試されている」と閉会のあいさつ。集会には、沖縄の伊佐真次さん、グローバル・ネットワークからメッセージがよせられました。集会終了後、参加者は中浜漁港までデモをしましたが、あちらこちらで家から出て、手を振って応える住民の姿がありました。中浜漁港では、漁協のみなさんが特別に店を出し、参加者の多くが買い求めていました。また、オバマ大統領、ケネディ駐日大使にあてた要請はがきは1000枚近く集まり、、現地から投函されました。

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149